

# CADPAC-CIVIL Ver.12 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.12 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.11 からの差分です)  
[\*\*\*\*/\*\*\*\*] は、該当のオンラインヘルプとなります。

## OS 対応

### 1. Windows 8

Windows 8 に対応しました。

なお Windows XP は、2014 年 4 月以降未対応 OS となりますので、早めに準備をお願いいたします。

#### ◆対応 OS

Windows 8	Pro 日本語版 (32/64*ビット)
Windows 7	Professional 日本語版 (32/64*ビット)
Windows VISTA	Business 日本語版 (32/64*ビット)
Windows XP	Professional 日本語版 (32/64*ビット)

- Windows8 のタッチ機能 (タップやスワイプなど) には、完全対応していません。
- 上記以外の OS は使用できません。
- 64 ビット OS の場合、32 ビットアプリケーションとして動作します。

## 汎用機能

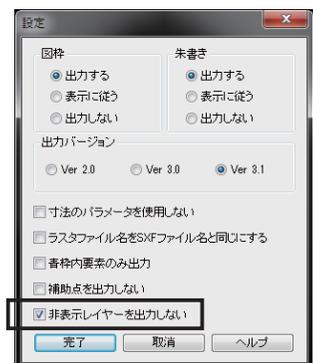
### 1. SXF 出力

非表示状態のレイヤーを除いて出力できるようになりました。

設定ダイアログに「非表示レイヤーを出力しない」を追加しました。

初期設定は OFF になっています。

[ファイル / 外部出力 / SXF 出力]



## 2. DXF・DWG 入出力

AutoCAD 2013 形式に対応しました。  
 またラスターデータの入出力にも対応しました。  
 変換条件設定ダイアログに追加されたチェックボックスをオンにし、「外部データ貼付」がインストールされていることが条件です。

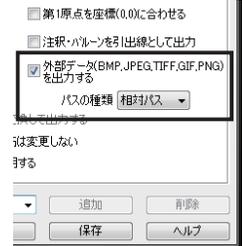
[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

## DXF・DWG 入力

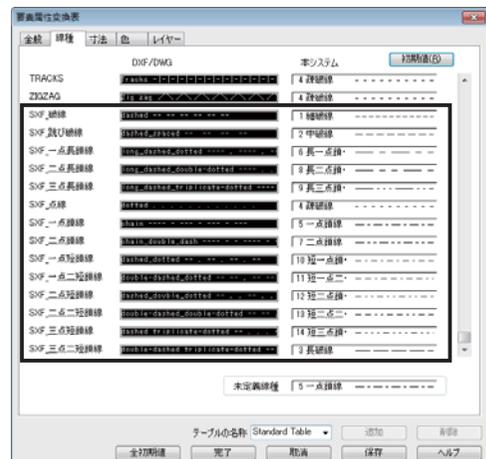


## DXF・DWG 出力



「ヘッダー読み込み後に再設定する」をオンにし、読み込み後再設定した際、その線種設定が保存されるようになりました。

また、変換時の割り当て線種について、新たに 14 の線種を定義できるようになりました。 [ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



### 3. iPad 送信

「iPad 送信」は、本システムで作図した図面を、iPad で閲覧できる形式のファイルに変換する新機能です。

変換されたファイルは、任意のフォルダに保存することや、お使いのメールソフトにファイルを添付しメールを作成することが可能です。

変換する際にファイルにパスワードを付加することができます。

パスワードが付加されたファイルは、iPad で開く際に指定のパスワードを入力することで開きます。

iPad の閲覧アプリケーション名は、「CADPAC View」といい、App Store (apple.com) から無償でダウンロードできます。

CADPAC View の詳細は以下の URL を参照してください。

<http://www.dcrea.co.jp/product/cadpacview/>

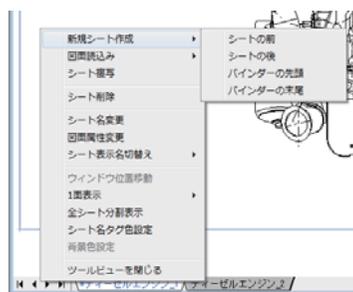
[ ファイル /iPad 送信 ]



### 4. バインダー

ポップアップメニュー「新規シート作成」、「図面読み込み」からシートをバインダーに追加する際、位置を指定できるようになりました。

[ 基本操作 1/ バインダーについて ]



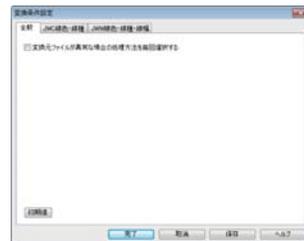
## 5. システム設定・色彩

[初期値] ボタンが追加されました。実行すると設定が初期値に戻ります。  
[補助 / システム設定 / 色彩]



## 6. Jw\_cad 入力

Jw\_cad 入力の変換条件設定ダイアログボックスを一新しました。  
[ファイル / 外部入力 / Jw\_cad 入力]



全般



JWC 線色・線種



JWW 線色・線種・線幅

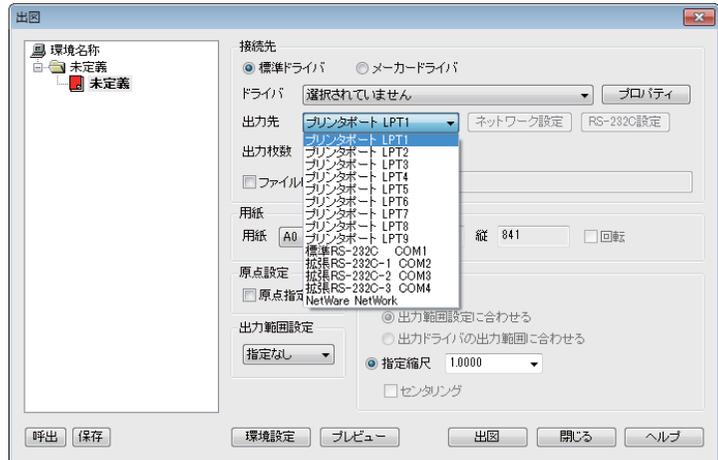
## 7. IMGPrinter

## TIFF・PDF 出力ドライバ

ファイルの種類「PDF File 画像にして出力 (\*.pdf)」を追加しました。  
通常の PDF 出力と違い、ラスターデータに変換し出力するため、  
CAD データとして二次利用されるのを防ぐことが可能です。  
[ファイル / IMGPrinter - PDF・TIFF・XCDF 出力]

## 8. 出図

標準ドライバの出力先を LPT9 まで拡張しました。  
[ファイル / 出図]



## 9. 軸傾

コマンド実行中、割り込みで起動できるようになりました。  
[基本操作 4/ モード設定]

## 10. 環境設定

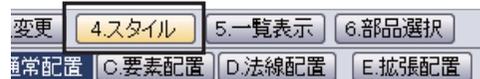
環境設定を保存する際にメモを保存することができるようになりました。  
[補助 / 環境設定]



## 11. 部品配置

[4. スタイル] の動作が変更されました。  
[4. スタイル] ボタンをマウス左クリックでオン / オフすることによって、線スタイル・レイヤー設定を部品に適用するか、しないかの選択が可能になりました。ボタンをマウス右クリックすると、線スタイル・レイヤー設定ダイアログが開きます。

[ファイル / 部品配置]



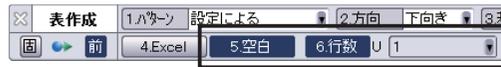
## 12. 表作成

Microsoft Excel のデータに依存せずに、空白の表が作図できるようになりました。

[5. 空白] をオンにし、作成する空白行の数を [6. 行数] で指定することによって作図できます。

[ 作図 / 定型 / 表作成 ]

番号	品名	材質

13. エクセル連動  
点列入出力

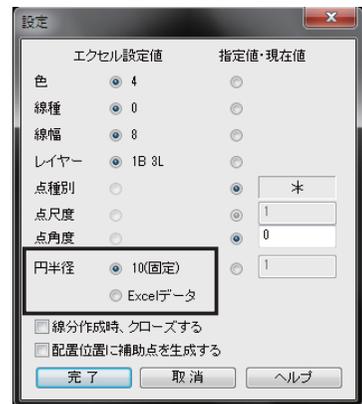
エクセル連動で円の半径情報を入出力できるようになりました。

入力では、[5. 設定] から半径の指定を固定値（前バージョンまでの動作）と Excel で指定した値から選択することができます。

[ 編集 / エクセル連動 / 点列入力 ]

[ 編集 / エクセル連動 / 点列出力 ]

15		1 U		
16	X	Y	R	
17		0	40	3
18		-35	20	5
19		-35	-20	2
20		0	-40	9
21		35	-20	4
22				

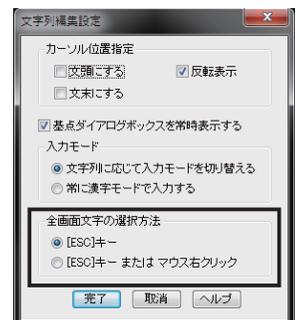


## 14. 文字列編集

図面上の全文字列の選択は従来 [ESC] キーで行いましたが、本バージョンからマウス右クリックでも実行できるようになりました。

CSB の [6. 設定] から選択方法を設定することができます。

[ 作図 / 文字編集 / 文字列編集 ]



## 15. バルーン

CSB に [8. 文字参照] が追加されました。

作図画面上の要素をマウス左クリックで指定することにより、[0. 番号] に文字列を取り込むことができます。

参照できる要素は「文字」、「機械部品の属性」、「グループ名」です。

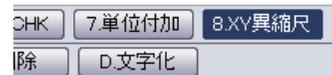
[作図 / 文字記入 / バルーン]

16. 距離と面積  
XY 異縮尺対応

本コマンドにて設定されたX軸とY軸の倍率をもとに、測定された値に対して変倍を行い表示することができます。

[ 補助 / 計測 / 距離 ]

[ 補助 / 計測 / 面積 ]



## 外部データ貼付オプション

## 1. データ貼付

新たに PDF 形式のファイルに対応しました。

Microsoft Office2010 に対応しました。

[ オプション / 外部データ貼付 / データ貼付 ]

## 土木オプション

## 1. 補助記号

[5. 角度切替]、[円弧] – [円弧] の指定時で切り替えができるようになりました。

[ 土木基本 / 共通 / 補助記号 ]